

久美愛厚生病院 緩和ケアだより

発行：緩和ケアチーム vol.42 2026年3月号



緩和ケアだよりは1階中央待合ホールパンフレットラックにあります。ご自由にお持ち帰りください

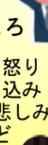
緩和ケアとは、重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生をおくることができるよう支えていくケアです。

当院には緩和ケアチームがあります。入院・外来問わずチームのサポートを希望される方は各外来・病棟のスタッフにお問い合わせ下さい。

からだ
痛み、吐き気
息苦しさ
体のだるさ
など

暮らし
仕事のこと、
経済面、
家庭での
気がかり
など

こころ
不安、怒り
落ち込み
後悔、悲しみ
など



「傾聴」について

皆さんは「傾聴」と聞くとどのようなことを想像しますか。

傾聴とは単に相手の話を「うんうん」と聴くことではありません。またほっとしたり癒されたりすることだけを目的とするものでもありません。

相手の心情に寄り添い、心を込めて丁寧に聴こうとする。否定も肯定もせず、何を伝えようとしているのか咀嚼してから「こういうことですか？」と伝え返したり、「間」を大切にしていじっと待つことをする。すると、そうした態度は相手に次々と伝わり広がって行き、ある作用を引き起こしていくのです。具体的には、心の内を話そうとした時、私たち聞き手がありのままに受け入れて傾聴していることに気付くにつれ、少しずつ自分自身に耳を傾けるようになって行くのです。つまり相手の傾聴の態度から、自分を傾聴することを学ぶのです。その学習が進むことで自分自身に対して受容的になることができ、次第に解放されていきやすくなるのです。その助けとなるのが傾聴であり、助言や忠告とは違うものなのです。

皆さんも日頃から、相手が自分の感情に耳を傾けられるよう、「傾聴」を意識して関わってみませんか。

リハビリテーション科 田宮

今後の学習会テーマ募集中!!
ご希望があれば緩和ケアチームに
ご相談ください

緩和ケアについての学習会を実施しました

緩和医療専門医 今井 奨先生(高山赤十字病院)を講師にお招きし、苦痛を抱える患者様やご家族に自信をもって緩和ケアが提供できるよう学習会を開催しました。お薬などに関する新しい知見のみならず、患者様やご家族の思いに耳を傾けること、具体的にはどのような言葉かけが安心につながるかなど長年の医師としての経験や最新の情報を踏まえて教えていただきました。学習会で学んだことを実践に生かし、ひとりひとりに寄りそった緩和ケアを実現していきたいと思ひます。

